

漁海況月報

No. 11

平成 17 年 11 月 1 日

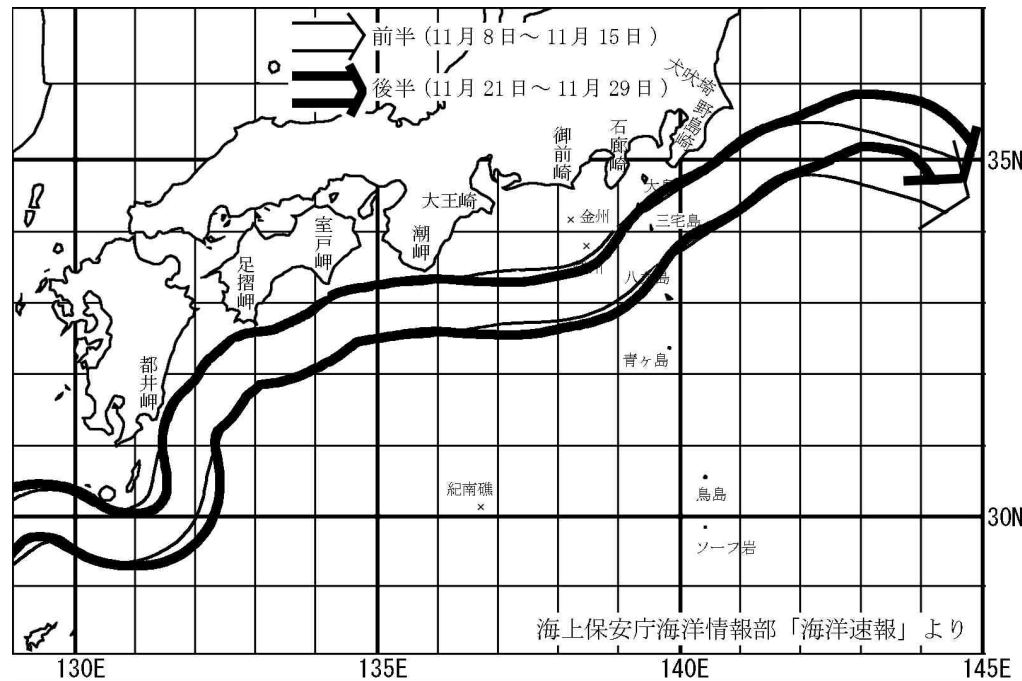
～11 月 30 日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

黒潮は、前半、後半ともに全般に接岸傾向で流れ、潮岬以東では遠州灘沖の 33° N を東進し、三宅島付近を通り、房総半島に沿って北東へ流れる N 型で経過した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 18～22℃ 台、駿河湾東部では 19～22℃ 台、駿河湾西部では 17～22℃ 台で経過した。中旬以降の黒潮系暖水の波及もあり、全般に高めで経過し、特に焼津では月平均で平年よりも 2℃ 以上高めとなった。

【竿釣近海カツオ】

11 月の県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 23 トンで前年同期の 24% であった。魚価は 219 円/kg で、前年同期を大幅に下回った。

中型竿釣船の記録（QRY）及び御前崎市場での調査によれば、11 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

38° ～41° N、147° ～152° E で小、中、極小、大、チンカツオを、33° 40' N～140° E 付近で中、大、小、特大、特特大、極小、チンカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
17 年 11 月上旬	2	3	0.6	139
中旬	0	0	-	-
下旬	21	8	2.6	226
17 年 11 月計	23	11	2.1	219
16 年 11 月計	95	48	2.0	428
15 年 11 月計	28	15	1.9	380

【定置網】

平成 17 年 11 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は 341 トンであった。1 漁場当たり水揚量 42.6 トンは前年 39.4 トンの 1.1 倍で、平年値（昭和 57～平成 16 年平均値）33.5 トンの 1.3 倍であった。

魚種別にみると、①サバ類 158.1 トン（前年の 2.4 倍、平年の 3.8 倍）②マルソウダ 49.6 トン（前年の 46%、平年の 1.5 倍）③マアジ 48.7 トン（前年並、平年の 2.0 倍）④サンマ 28.5 トン（前年の 63%、平年並）⑤ウルメイワシ 16.0 トン（前年の 3.2 倍、平年の 2.0 倍）の順に多かった。

サバ類は川奈、赤石を中心に入網し、ほとんどがゴマサバであり、尾叉長 27cm にモードを持つ 1 歳魚が中心であった。マルソウダは北川、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 28cm であった。マアジは赤石、谷津、北川を中心に入網し、尾叉長の中心は 17～18cm にみられ、当歳魚が中心であった。サンマは北川を中心に入網し、肉体長の中心は 30～31cm であった。ウルメイワシは伊豆山、古網を中心に入網し、被鱗体長のモードは 16cm と 21cm にみられた。

漁場別水揚量は、サバ類、マルソウダの漁獲が多かった川奈（103 トン）、マルソウダ、サンマの漁獲が多かった北川（76 トン）、サバ類、マアジの漁獲が多かった赤石（62 トン）の順であった。

2005 年 11 月

定地水温の旬平均値 (°C)

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	21.0	21.5	20.8	21.3	21.5	21.9	19.9
	0.9	0.8	0.6	0.3	1.3	2.0	0.8
中 旬	19.7	20.6	20.7	21.6	21.3	20.5	17.7
	0.5	0.8	1.4	1.3	1.7	1.6	-0.4
下 旬	18.9	20.4	20.2	20.4	20.4	20.6	17.4
	0.7	1.5	1.8	1.3	1.8	2.6	0.4
月平均	19.9	20.8	20.6	21.1	21.1	21.0	18.4
	0.7	1.0	1.3	1.0	1.6	2.1	0.3

[サバ棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は750トンですべてゴマサバであった。漁場は三宅島近海に形成され、水揚げされたゴマサバは尾叉長26～30cmの大きさの2004年級と思われるものがほとんどを占めた。1kg当りの平均単価は24円と先月(22円/kg)に引続き安価であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成17年 上旬	340	4	8	42.5	三宅
11月 中旬	312	4	8	38.9	三宅
下旬	98	2	4	24.6	三宅
計	750	10	20	37.5	-----
平成16年11月	1,243	12	46	27.0	新島、高瀬、三宅
平成15年11月	678	6	30	22.6	銭洲、三宅

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で63kg、遠州灘で77kgだった。主要6港平均では70kgと前年同期の130%、平年同期(過去5か年平均:144kg)の49%と、平年を大きく下回った。11月の総水揚量は63.9トンと、前年同期の89%、平年同期(245.4トン)の26%に当り、平年を大きく下回った。平均単価は1,026円/kgと平年同期(1,003円/kg)並みだった。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延続数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	3.9	9	69	57	755
舞 阪	14.0	8	162	87	883
福 田	9.4	7	117	80	895
御前崎	9.3	11	126	74	1,069
吉 田	13.0	10	226	57	1,022
静 岡	14.3	10	210	68	1,302
平成17年11月計	63.9	—	910	70	1,026
平成16年11月計	71.5	—	1,321	54	1,810
平成15年11月計	486.3	—	1,983	245	662

[まき網]

小川港では、マイワシは1.2トン水揚げされ、平年同期(過去5か年平均:95.9トン)の1%と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

沼津港では、マイワシは16.7トン水揚げされ、平年同期(79.1トン)の21%と低調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシは1.7トン水揚げされた。カタクチイワシは水揚げされなかった。

伊東港では、マイワシは0.3トン水揚げされた。カタクチイワシは水揚げされなかった。

[サクラエビ船曳網]

平成17年秋漁は11月3日夜が初漁となった。11月の水揚量は9日で276トンとなり前年を上回った。漁場は主に三保沖から焼津沖にかけて形成され、漁期始めには大瀬沖にも形成された。

また、漁獲されたサクラエビは、体長32mmにモードを持つ当歳エビと41mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成17年11月 上旬	77	3	平均 427	大瀬～焼津沖
中旬	157	4	平均 654	三保～焼津沖
下旬	42	2	平均 353	三保～焼津沖
平成17年11月 計	276	9	平均 512	—
平成16年11月 計	168	10	平均 280	焼津～相良沖
平成15年11月 計	124	4	平均 515	三保～吉田沖

[調査船の動向]

富 士 丸

11月8日～ 南方カツオ調査(23日間)

駿 河 丸

11月1～2日 駿河湾内にて名古屋大の地殻変動計調査(2日間)

11月9～11日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

11月14～15日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査、産卵調査(2日間)

11月16日 駿河湾内にてSTD作動テスト(1日間)

11月17～18日 駿河湾内にてシラス調査(2日間)

11月21～22日 久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)

11月24日 三宅島沖にてサバ漁場調査予定も風悪く中止(1日間)

11月28日 駿河湾内にて静大深層水調査(1日間)